

私たちは文化財をとおして  
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会  
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritages

季刊

みる・きく・ふれる 文化財

# おうみ文化財通信

# vol. 56

Information of Cultural Heritage in OHMI

2023 Summer

【調査速報】古代銭貨「隆平永宝」出土！－多賀町大門池南遺跡－

【展示案内】滋賀県埋蔵文化財地域展示Ⅴ ～瀬田丘陵編～  
『人と自然－瀬田丘陵の開発史－』

滋賀県立安土城考古博物館 第68回企画展

『発掘された近江Ⅲ－信長・光秀・秀吉・家康の城－』

【お知らせ】

滋賀県立琵琶湖文化館 滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコツチ」

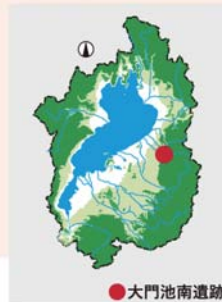
第3回『世界に広がる「近江の文化財」』/ ユネスコ登録記念・特別講座

整理室公開事業・埋蔵文化財整理調査報告会

『あの遺跡は今！ Part30 整理室へようこそ!!』－見て感じる考古学－



しがぶんちゃん



●大門池南遺跡

【調査速報】～80年ぶりに出土場所が明らかに～

りゅうへい えいほう

## 古代銭貨「隆平永宝」出土！

だいもん いけみなみ いせき

－多賀町大門池南遺跡－

調査で銭貨が出土した場所

令和4年に行われた県道佐目敏満寺線補助道路整備工事に伴う発掘調査で、15点の隆平永宝がまとめて出土しました。

『多賀町史』には、昭和19年に多賀町敏満寺守野付近の墓地の南東約50mの松林で、古株を掘り出す作業をしていた時、古い銅銭が数珠つなぎに約80枚みつき、「隆平永宝」の文字が見えたと記されていますが、具体的な場所は不明でした。

今回の出土地点は町史にある墓地の南東側にあたること、調査範囲内に顕著な遺構が確認できないことなどから、昭和19年の発見地点と同一である可能性が想定され、およそ80年ぶりに出土位置が推定できるかもしれません。



今回の調査地の様子（北から）

（写真提供：滋賀県）



出土銭貨：上から右回りに「隆平永宝」の文字が読み取れ、銅特有の緑青色の錆が確認できる。重なって錆着したものもある。（写真提供：滋賀県）

隆平永宝は、「皇朝十二銭（こうちょうじゅうにせん）」と呼ばれる古代に国内で製造された銭貨のひとつで、平安京遷都（794年）後の796年に発行されました。



「隆平永宝」が出土したのは、長さ2.5m・1.5m・深さ0.25m程の方形の穴(土坑)です。

銭貨以外に、石製丸鞆(帯飾り)1点、鉄釘2点、銅製品や鉄製品の破片、土師器皿の破片等が出土しました。

隆平永宝の出土事例は近江に多く、古代の貨幣経済を探る上でも貴重な成果となります。

また、銭貨や帯飾りの出土した土坑は、形状や規模などから墓であった可能性が高く、隆平永宝鑄造時期などから、9世紀前半頃のものと考えられます。



隆平永宝 出土状況(西から)

(写真提供: 滋賀県)



隆平永宝が出土した土坑

(写真提供: 滋賀県)

大門池南遺跡の所在する多賀町敏満寺付近には、東大寺の荘園であった「水沼荘」があったことが史料から推定されています。荘園とは、奈良時代から室町時代にかけて存在した貴族や寺社の所有地のことです。

当時の貴重な銭貨である「隆平永宝」が出土した土坑は、こうした古代水沼荘と関りのあった人物の墓かもしれません。



しがぶんちゃん

どきっち



QRコードからも詳細資料にアクセスできます！

～出土丸鞆～

丸鞆は、役人の腰帯といわれるベルトの装飾として用いられたもので、この飾りは位によって決められていました。古代の法律「養老衣服令」には、五位以上は金銀装、六位以下は黒漆で仕上げた烏油装と定められています。また六位以下の腰帯の金属製飾りは、延暦15年(797年)以降に禁止されています。

出土品は、黒色の石材を平滑に磨き上げています。これを身につけていた人物は、六位以下の役人であったと推測されます。

表面



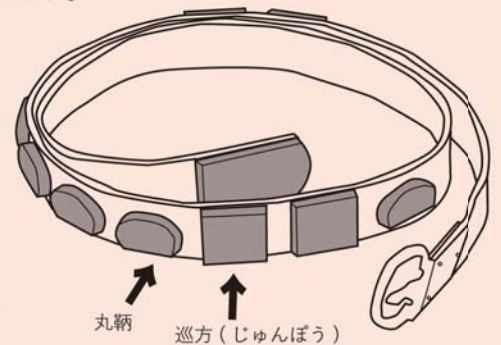
裏面



出土した丸鞆(まるとも)

← 出土した丸鞆は、長さ2.5cm・幅3.6cm・厚さ6.5cm・重さ12.69gでした。

裏面には、ベルトに固定するための穴(2孔一対)が3箇所にあけられ、破損したために新たにけられた別の孔もみられます。



丸鞆

巡方(じゅんぼう)

〈腰帯(ようたい)イメージ〉



# 『発掘された近江Ⅲ ー信長・光秀・秀吉・家康の城ー』

滋賀県(近江国)には1300もの城が築られますが、そのなかには天下人となる織田信長、明智(惟任)光秀、羽柴(豊臣)秀吉、徳川家康が自らの居城として、あるいは天下を治めるために築かせた城があります。これらの城は、近江にとどまらず日本各地に築かれる城に大きな影響をおよぼしています。

本展では、近江に築かれた天下人の城の特徴や意義を、発掘調査で出土した資料やパネルで紹介します。

【開催期間】令和5年7月22日(土)  
～令和5年9月18日(月・祝)

【開館時間】9:00～17:00  
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】月曜日  
\*8月14日(月)、9月18日(月・祝)は開館

【入館料】大人600(480)円、高大生360(290)円  
\*小中学生・県内高齢者・障害のある方は無料。  
\*( )は20人以上の団体料金。  
\*「信長の館」との共通券は大人980円、高大生540円。

【お問合せ】滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311  
滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678  
TEL.0748-46-2424  
FAX.0748-46-6140  
URL:https://www.azuchi-museum.or.jp



～信長の城～ 安土城 金箔軒丸瓦 (滋賀県蔵)



～秀吉の城～ 水口岡山城 軒丸瓦・軒平瓦 (甲賀市教育委員会蔵)



～光秀の城～ 坂本城 軒丸瓦・軒平瓦 (大津市埋蔵文化財調査センター蔵)



～家康の城～ 膳所城 陶磁器 (滋賀県蔵)



↑安土城考古博物館HP



【お知らせ】滋賀県立琵琶湖文化館

## 令和5年度 滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコツチ」



ユネスコ登録記念・特別講座 7月27日(木)\*申込受付開始日:6/23～

### 「世界の記憶」智証大師円珍関係文書の世界



ちしょうだいしえんちんかんけいもんじよ  
みいでら おんじょうじ  
大津市の三井寺(園城寺)の所有する国宝2件が、「智証大師円珍関係文書典籍-日本・中国の文化交流史-」として、新たにユネスコ「世界の記憶」に登録されました。本講座では、特別講師をお招きし、智証大師円珍(814～891年)が中国・唐に渡り密教の教えを日本にもたらしたその足跡と、今に伝わる貴重な古文書や典籍類について、お話しいただきます。  
/講師:福家俊彦氏(三井寺長史)

【会場】コラボしが21 3階大会議室  
大津市打出浜2-1  
(JR膳所駅から徒歩約20分)

【定員】140名  
\*先着順/受講料無料

【申込】事前申し込み必要  
\*TEL・FAX・メール・ウェブサイトよりお申込みください。  
\*「氏名/お住いの市町名/連絡先電話番号」をお伝えください。

【お問い合わせ】  
滋賀県立琵琶湖文化館  
〒520-0806  
滋賀県大津市打出浜地先  
TEL.077-522-8179  
FAX.077-522-9634  
メール.biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp  
URL.http://biwakobunkakan.jp

第3回 8月30日(水) \*申込受付開始日:7/28～

### 世界に広がる「近江の文化財」



金銅尾長鳥文華鬘 (オランダ・アムステルダム国立美術館蔵)

近江ゆかりの文化財が世界の美術館・博物館に収蔵されていることをご存じですか?

じょうごんいん けまん  
近江八幡市・浄厳院伝来の華鬘(仏堂の飾り)が、日本国内のほか、米国やオランダの美術館に収蔵されているなど、本講座では、世界に広がる様々な「近江の文化財」について、仏教工芸を中心に紹介します。

/講師:田澤梓(県立琵琶湖文化館)



↑琵琶湖文化館HP



【展示案内】滋賀県埋蔵文化財地域展Ⅴ ～瀬田丘陵編～

# 『人と自然－瀬田丘陵の開発史－』



現在の瀬田丘陵には、滋賀県立美術館・滋賀県立図書館・滋賀県埋蔵文化財センターが立地し、緑豊かなびわこ文化公園として県民の憩いの場となっています。また、周辺には龍谷大学や滋賀医科大学、立命館大学があり、文化・教育施設の集積地となっています。

しかし、今から1,200～1,300年前の古代には、当時の県庁に相当する「近江国庁」が置かれ、丘陵一帯は鉄の原料や銅製品の生産、陶器生産基地などが集中する工業地帯であり、「近江国」の中心地でした。

本展覧会では、「人」と「自然」のかかりから「瀬田丘陵」の歴史的な特徴を明らかにしていきます。

【開催期間】令和5年7月22日(土)～11月12日(日)

※7/22～8/31は無休。9月～11月は行事開催時のみ開館(行事開催日:9/2・11/5・11/11・11/12)

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)

【入館料】無料

【開催場所】滋賀県埋蔵文化財センター 1階ロビー  
 大津市瀬田南大萱町1732-2  
 (滋賀県立図書館東側)

【展示遺跡】粟津湖底遺跡・関津遺跡・横尾山古墳群・源内峠遺跡・山ノ神遺跡(大津市)、木瓜原遺跡・榊差遺跡黒土遺跡・野路小野山遺跡(草津市)〔予定〕

【関連行事】◇8月11日(土祝)14:00～

京都橘大学の学生による展示解説

◇9月2日(土)14:00～15:30

滋賀県立美術館 木のホール

びわこ文化公園3館連携講演会

「ヒトと自然のかかりから見た近江  
 －瀬田丘陵の歴史的な特性」

講師:堀 真人

(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)



京都橘大学生による展示解説(令和4年)

【お問合せ】

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

TEL:077-548-9780



↑当協会HP

【お知らせ】整理室公開事業・埋蔵文化財整理調査報告会

## 「あの遺跡は今! Part30 整理室へようこそ!!」一見て感じる考古学



滋賀県立安土城考古博物館内の整理室では、滋賀県内の発掘調査で見つかった出土品の整理調査をしています。夏休み2日間限定の恒例イベント「あの遺跡は今!」では、現在整理調査をしている出庭遺跡(栗東市)や佐和山城跡(彦根市)などの出土品を、現地調査の写真パネルと調査員や考古学専攻生の詳しい解説付きでご覧いただけます。

キーホルダー



キーホルダー色塗り体験

←昨年好評だった、古代瓦の模様をあしらった"キーホルダー色塗り体験"を、今年も行います。

受付で無料配布する展示解説シートには、"自由研究のテーマ"のヒントがたくさん。楽しく歴史にふれて、夏の自由研究を完成させよう!



↑当協会HP

出土品の接合や実測・注記などの調査作業も公開、体験もいただけます。調査スタッフの熟練のワザを、ぜひ目の前でご覧ください。

【開催日時】令和5年7月29日(土)・7月30日(日)

9:00～17:00 (入館は16:30まで)

【参加費】無料(キーホルダー色塗り体験のみ300円必要)

\*体験の事前申し込み不要

【会場】滋賀県立安土城考古博物館内  
 整理室(調査課安土分室)

近江八幡市安土町下豊浦6678

【お問合せ】:博物館内 調査課安土分室

TEL:0748-46-4861



昨年度の様子